

【法人の概要】

代表者名	松村 孝典		所管部(局)課	農政部畜産課		
所在地	北杜市小淵沢町10060-3		電話番号	0551-36-3945		
ホームページURL	http://www.nns.ne.jp/ass/baji		E-mailアドレス	baji@nns.ne.jp		
資本金(基本財産)	1,000	千円	設立年月日	昭和57年6月17日		
主な出資者	出資順位	出資者名		出資額		出資比率
	1	山梨県		400	千円	40.0 %
	2	北杜市		400	千円	40.0 %
	3	山梨県馬術連盟		200	千円	20.0 %
	4				千円	0.0 %
	5				千円	0.0 %
	6				千円	0.0 %
	7				千円	0.0 %
	8				千円	0.0 %
	9				千円	0.0 %
	10				千円	0.0 %
その他	団体(者)			千円	0.0 %	
設立の経緯等	(設立)本法人は、「かいじ国体」(昭和61年10月)で整備した馬術競技用施設を管理運営し、これを有効活用して事業を実施する法人として、県・小淵沢町・馬術連盟の出捐により設立。 (目的)馬術技術の普及奨励と優良乗用馬の育成供給を行い、もって畜産の振興に寄与すること。 (経緯概況等)国体終了後も県の馬事振興を図る拠点とし、各種大会の開催、研修会開催等により馬術普及に貢献している。					

【主要事業の概要】

主な事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H19年度	H20年度	H21年度
事業1 馬事技術普及奨励事業	各種大会・合宿の受け入れ、施設の利用を通して馬事普及を図った。県有競技馬を中心とした調教技術の向上に努め選手強化の実績を挙げた。	69,474	62,254	62,178
事業2 優良乗用馬育成供給事業	優秀馬の繁殖事業に伴う生産育成による乗用馬と競走転用馬の再調教を施し広く乗馬関係者に供給した。	13,125	13,767	14,452
事業3 その他法人の目的を達成するために必要な事業	地域と連携しホースレッキング大会やホースショー及び小中学生の体験乗馬等の開催を支援し、地域スポーツ文化及び馬事振興発展に協力した。	2,545	2,216	1,810

【組織】

4月1日現在の人員	年度	平成20年度					平成21年度					平成22年度							
		職 員	プロ パー 員	派遣 ・ 兼 務	県 職 員	県 O B	そ の 他	職 員	プロ パー 員	派遣 ・ 兼 務	県 職 員	県 O B	そ の 他	職 員	プロ パー 員	派遣 ・ 兼 務	県 職 員	県 O B	そ の 他
役員	理事(常勤)	1				1	1				1	1							1
	理事(非常勤)	11		3		8	11		3		8	11		3				8	
	監事(常勤)	0				0	0				0	0						0	
	監事(非常勤)	2		1		1	2		1		1	2		1				1	
	評議員	0				0	0				0	0						0	
計	14	0	4	0	10	14	0	4	0	10	14	0	4	0	10				
職員	管理職	2	1		1	2	1		1		2	1		1					
	一般職員	3	3			3	3				3	3							
	臨時職員	4	4			4	4				4	4							
	非常勤職員	0				0					0								
計	9	8	0	1	0	9	8	0	1	0	9	8	0	1	0				
プロパー職員の年齢構成 (H23. 4. 1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計									平均年齢	平均年収	
	男性		1	2		1		4	役員							※	(千円)	※	
	女性							0	常勤										
	合計	0	1	2	0	1	0	4	職員							40	(千円)	4,764	

※常勤役員は、1名のため個人情報保護の観点から、非公開

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		19年度	20年度	21年度	増減(21-20)
正味財産の状況	基本財産運用益		4	4	0
	受取会費				0
	受取寄付金				0
	受託事業収益	26,626	31,702	26,084	△ 5,618
	自主事業収益	24,337	27,477	28,005	528
	受取補助金等	57,173	49,929	49,469	△ 460
	雑収益	8,228	3,900	3,257	△ 643
	経常収入 計	116,364	113,012	106,819	△ 6,193
	事業費	15,670	14,703	16,296	1,593
	うち人件費				
	管理費	101,685	90,912	89,709	△ 1,203
	うち人件費	33,869	32,009	32,281	272
	経常支出 計	117,355	105,615	106,005	
	当期経常増減額	△ 991	7,397	814	△ 6,583
	経常外収入				0
	経常外支出		1,330		△ 1,330
	当期経常外増減額	0	△ 1,330	0	1,330
当期正味財産増減額	△ 991	6,067	814	△ 5,253	
正味財産期首残高	102,156	317,414	301,436		
正味財産期末残高	317,414	301,436	281,989	△ 19,447	

(単位:千円)

項 目		19年度	20年度	21年度	増減(21-20)
財務状況	流動資産	6,165	9,089	5,614	△ 3,475
	固定資産	329,996	314,150	298,492	△ 15,658
	資産 計	336,161	323,239	304,106	△ 19,133
	流動負債	1,561	2,910	2,019	△ 891
	うち短期借入金				0
	固定負債	17,186	18,893	20,098	1,205
	うち長期借入金				0
	負債 計	18,747	21,803	22,117	314
	正味財産	317,414	301,436	281,989	△ 19,447
	うち基本財産への充当額	1,000	1,000	1,000	
うち特定資産への充当額	216,249	194,203	177,333		

(単位:千円)

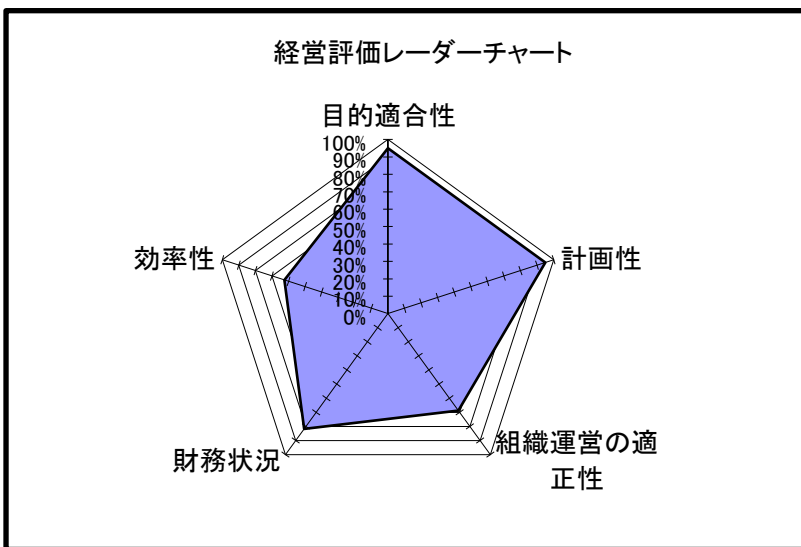
項 目		19年度	20年度	21年度	増減(21-20)
県の財政的関与の状況	負担金				0
	人件費(派遣法)補助金				0
	人件費(派遣法以外)補助金	5,741	3,298	3,132	△ 166
	人件費以外の補助金	4,760	2,564	2,135	△ 429
	運営費補助金	10,501	5,862	5,267	△ 595
	事業費補助金			3,390	3,390
	補助金 計	10,501	5,862	8,657	2,795
	人件費(派遣法)委託金				0
	人件費(派遣法以外)委託金	16,723	14,394	14,625	231
	人件費以外の委託金	6,913	5,926	5,926	0
	委託金 計	23,636	20,320	20,551	231
	県支出金 計	34,137	26,182	29,208	3,026
	県の財政的関与の割合(%)	29.3	23.2	27.3	4
	県貸付金残高				0
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	
補助金(運営費)	山梨県馬術競技場の管理運営を行うための経費(2135千円)
補助金(事業費)	山梨県馬術競技場の施設整備を行うための経費(3390千円)
委託金	県有競技用馬の能力を効果的に発揮させるため、飼育管理業務に係る委託費(20551千円)
債務負担行為	

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	5	20	19	95.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	19	95.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	16	11	68.8%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	36	81.8%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	8	32	20	62.5%
合計		33	132	105	79.5%



【警戒指標】

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	当初の設立目的に適合した業務を実施し、地域の活性化に成果を上げている。
計画性	経営計画及び事業運営合理化計画に基づいた管理運営を実施している。
組織運営の適正性	組織の人員構成、業務チェック機能は概ね良好である。
財務状況	借入金はなく、安全な資金運用に努め健全経営を実施している。
効率性	施設の有効利用を図り、必要最小限の人員で事業収入を確保し、管理費の削減に努めている。
総合的評価	目的にあった計画的な運営に努力しているが、効率性の向上に向けて管理費の削減等努力しているが依然県からの財政支援に頼らざるを得ない現状である。経費削減と収入の増加を図っていくことが必要である。



対応策	各種大会の参加馬・参加者の増員を図る等事業収益の確保に努めながら、より一層管理費の削減など組織運営の効率化に努力して法人の自立性を高めていく。
-----	---

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	各種大会の開催や合宿等の受入及び選手強化、繁殖事業、指導者養成研修など馬事技術の普及奨励や畜産振興に寄与しており、目的に適合している。
計画性	経営計画や事業運営合理化計画の中長期計画、また年度毎の事業計画を定め計画的な事業運営に取り組んでいる。
組織運営の適正性	必要最小限の職員数で合理的かつ効率的に業務遂行を行っており、組織運営は概ね適正である。
財務状況	財務状況は、経費の削減等により毎年改善を図ってきている。今後も合理的な経営を行い、更なる改善を図る必要がある。
効率性	経営計画に基づき、管理費の削減に努めながら事業収益を確保し、県からの財政支援の縮減を行っているが、既存事業の充実や新たな事業への取り組みを行うことにより施設を有効活用し、事業収入を増やしていく必要がある。
総合的評価	概ね設立目的に沿った法人運営がなされており、十分に評価できる。今後も引き続き、業務の効率化や新規事業への取組などにより事業収益を向上させ、県からの財政支援に極力頼らない自立的な経営を図っていく必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">財務状況</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> A (75%~) </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> B (60%~75%) </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> C (50%~60%) </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> D (~50%) </div> </div> <p>・法人運営に対する県補助金・委託金の依存度は高いものの、利用者のニーズに幅広く対応した自主事業の実施により収益は増加傾向にあり、人件費をはじめとした管理費の縮減により、経営改善の効果が認められる。</p> <p>※ ランク下の%は得点率の範囲</p> <p>・今後も、業務の一層の効率化や地域と連携したイベントの開催など新たな事業を積極的に実施するなど、事業収益の向上とスポーツ振興に取り組み、自立した経営を図って行くことが求められる。</p>



【総合所見等に対する今後の対応方針】

- ・今後も引き続き、利用者ニーズへの幅広い対応、サービスの向上を図り、利用しやすい施設への改善に取り組む。
- ・既存事業の充実により事業収益の向上を図るとともに、管理経費の削減に努め、極力県からの財政支援に頼らない自立的な経営を図る。
- ・事業収益の向上とスポーツ振興に積極的に取り組むことにより増収を図り、法人の自立性を高める。